

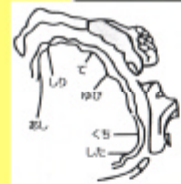
# 保育園の一日(おおむね2歳)

夏の遊び



なかよくわにおよぎ

手は使うほど頭はよくなる



頭は人間の脳の運動を手分けしている様子で、手や口を受け持っているところは、とくに広がっています。また、おえがきや製作等を経験することにより、子どもたちが遊びの中で楽しみながら指先を上手に使えるようになり、集中力がつき、脳の活性化につながります。



ぐるぐる丸は子どもの笑顔

生活 登園



先生、おはようございます。笑顔で元気にご挨拶

こころ (感情 社会性)

**自我の芽生え** ~なぜ?どうして?の時代~  
2歳のこの時期は、心身の著しい成長とともに、一人であることが急激に増えてきます。その一方で「できる」と思ってやってみただけできない時だをごねたり、自分の思いをぶつけることで、わかってもらおうとします。まず、子どもの気持ちを優しく受け入れましょう。すると「また挑戦しよう」という意欲が出てきて、内面的成長が促されます。

あそび



おやつ



着脱



シャボンたま いっぱい



それっ!

排せつ



めざせボタンかけ名人!

ごっこあそび



からだ (運動機能)

●運動遊びにはいいことがたくさん!!

この時期の子供は、歩く・走る・跳ぶなど基本的な運動機能が発達し、思うように体を動かす事が出来るようになる。

- ①楽しく体力作りができる(体力向上)
- ②子どもが頭をひとり占めできる(心の居場所づくり)
- ③親子のコミュニケーションづくりに役立ち、感情や言葉の発達につながる(社会性作り)
- ④知的面の成長の刺激となる(模倣能力の向上)

あたま (言葉・認識)

●言葉のやりとりを楽しもう●

~絵本で言葉を楽しむ~

2歳児になると言葉の意味がわかるようになり、イメージを言葉で表すようになります。見立て・つもり遊びの世界もぐんと広がっていきます。絵本の読み聞かせを喜びイメージを膨らませて楽しむ姿が見られます。

●どんな絵本がいい? 子どもの知っている動物の親子の絵本や擬声語が多く『だあれかな』のような絵本は、声がよく出て発語を促します。また、少し長めでストーリー性のあるものや、身近な物が描かれているが、想像の世界に誘うものなどがいいでしょう。

●読み聞かせのポイント 子どもの発見にこたえ、気持ちを受け止めて共感しながらゆっくりとしたテンポではっきりと読みます。読み聞かせの途中の指さし、言葉はさみは最小限にすることも大切です。



屋敷



さあ! れんじゅうしましょう。 箸の正しい握り方を教えてください。



センセイ ア～ンして



ジャンプ!!



屋敷



おやつ



きょうのおやつはかたくりもち

降園



さようなら またあした!

★箸を使うのはいつから?

手の操作性の発達から考えて、指で「三つ」ができることと、閉じた丸が描けるようになることが、大まかな目安になると考えています。あせらずに、その子のペースに合わせて、箸を持つ練習を進めていきましょう!!